

開講期	2025年度後期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	5339 日本古語を学ぶ4			開講形態（隔週 偶数＝隔週2コマ）	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	○	全学開講	○
曜日時限	金曜1限				
教室	G205教室				
代表教員	稲葉 有祐				
担当教員	稲葉 有祐				
テーマと到達目標	小倉百人一首の読解を通じて古語の持つ力や機能について学びます。例えば、「サクラ」という言葉から、植物という意味のほか、あなたはどのような感情を揺り起こすでしょうか。日本において、言葉のイメージは、多く和歌を通じて編み出されてきました。本授業では、和歌に用いられた言葉「歌語」を知ることにより、日本語に対する、より深い考察ができるようになることを目指します。また、くずし字解読の基礎を習得します。				
概要	小倉百人一首とは、古代から中世初期にかけての有名な歌人百人の秀歌をそれぞれ一首ずつ選び、編集されたアンソロジーです。本授業では、かつての日本人が用いていたくずし字で作品を読み、中世・近世期の人々の考え方（古注）を参照しつつ、和歌の修辞法や言葉の背景・イメージの広がりを探ります。そして、四季折々の自然・微妙な心の動きが言葉によっていかに捉えられているか、ということに注目して和歌を精読していきます。時に作者の逸話・説話にも触れながら、古語の世界を堪能しましょう。日本古語を学ぶ4では、特に76～100番歌を中心に扱います。なお、授業は講義形式を予定、期末レポートを課します。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員（複数の教員が担当する場合のみ記載）	授業方式
第1回	和歌と言葉・百人一首・くずし字について				対面授業
第2回	和歌の分析 法性寺入道前関白太政大臣 付・和歌文学の基礎				対面授業
第3回	和歌の分析 崇徳院・源兼昌				対面授業
第4回	和歌の分析 左京大夫頭輔・待賢門院堀河				対面授業
第5回	和歌の分析 後徳大寺左大臣・道因法師				対面授業
第6回	和歌の分析 皇太后宮大夫俊成・藤原清輔朝臣				対面授業
第7回	和歌の分析 俊恵法師・西行法師				対面授業
第8回	和歌の分析 寂蓮法師・皇嘉門院別当				対面授業
第9回	和歌の分析 式子内親王・殷富門院大輔				対面授業
第10回	和歌の分析 後京極摂政前太政大臣・二条院讃岐				対面授業
第11回	和歌の分析 鎌倉右大臣・参議雅経				対面授業
第12回	和歌の分析 前大僧正慈円・入道前太政大臣				対面授業
第13回	和歌の分析 権中納言定家・従二位家隆				対面授業
第14回	和歌の分析 後鳥羽院・順徳院				対面授業
第15回	実践・小倉百人一首				対面授業
成績評価の基準	授業時に指示する課題（50％） 期末レポート（50％） 毎時の課題・コメントは授業内でフィードバックし、問題点を共有していきます。				
履修にあたっての留意事項	「日本語を学ぶ3」（前期）と合わせて履修することを勧めます。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限（抽選）授業の優先条件					

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	なし。		
教科書	鈴木日出男・山口慎一・依田泰『シグマベスト原色小倉百人一首』（文英堂、2014年） その他、プリントを配付します。受講にあたっては教科書・授業資料をよく読み、問題点を整理しておいてください（予習復習・60分）。	教科書(ISBN)	978-4-578-24503-2
参考文献	授業時に適宜指示します。	参考文献(ISBN)	